

2017年(平成29年)度 友愛学舎募集要項

目次

1	友愛学舎とは	1 p
2	友愛学舎の運営	2 p
3	友愛学舎の活動	3 p
4	学期期間中の長期留学・海外でのインターンについて	5 p
5	施設・設備	6 p
6	料金	6 p
7	アクセス	6 p
8	募集及び応募概要	7 p
9	入舎手続き	8 p
10	書類送付先及びお問合せ	8 p

1. 友愛学舎とは

友愛学舎は 1908 年早稲田大学の創始者大隈重信侯の要請に応え、安部磯雄先生のすすめのもと、アメリカ人宣教師ベニンホフ博士によって創立されました。友愛学舎は聖書を共に学ぶことを通してイエス・キリストの精神に触れ、それを基盤とした共同生活を体験することによって豊かな人間形成を目指す場であり、また世界に開かれた環境の中で国際的感覚を育てる場でもあります。

■ 友愛学舎舎章

友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。

(ヨハネによる福音書 第 15 章 13 節)

■ 友愛学舎創立の精神

「友愛」とは単なる友情ではなく、舎章（ヨハネによる福音書 第 15 章 13 節）に示されている「その友のために自分の命を捨てるキリストの愛」を意味しており、「学舎」とは単なる寄宿舎ではなく、学生は学ぶことをもって本分とすることを意味しています。この学舎に集うひとりひとりが互いに仕え合い、共に生きる中で研鑽を重ね、人生の求道者として生きようとする、それが友愛学舎の精神です。時代の変遷の中にあっても常にこの精神に立ち返り、自覚的な共同生活を営みます。

■ 友愛学舎の目的

友愛学舎はキリスト教の伝統をもつ早稲田奉仕園の活動の中核であり、早稲田奉仕園の責任と指導の下に担当者と学生の協力によって運営されます。舎生は早稲田奉仕園の会員としての自覚を持ち、その諸活動に積極的に参加することを期待されています。

したがって、舎生は友愛学舎創立の精神に則り、共同生活を積極的におこない、友愛学舎及び奉仕園の活動に自発的に参加し、これらの交わりを通して自己形成を志し、大学生活の充実をはかります。

2. 友愛学舎の運営

■舎生による自主的な運営

友愛学舎は自主性を重んじ、日々の生活のルールや学舎の活動は舎生自身で話し合い、実施していく学生寮です。このため、寮運営には舎生一人一人に積極的な参加が求められています。

■委員会制度

自主的な運営を円滑に進めるため、委員会制度を取り入れています。舎生は在舎期間に必ず一度は委員を担当することが義務付けられています。委員の任期は9月から翌年8月までとなり、通常2年時に就任します。

本年度の委員会は、委員長、副委員長、議長、会計で構成されます。

- ❖委員長は、友愛学舎内でリーダーシップをとると共に、奉仕園等、寮外部との窓口となります。また、寮の最高責任者です。
- ❖副委員長は委員長の補佐にあたるほか、朝の会の円滑な運営や共同スペースの美化においてリーダーシップをとります。
- ❖議長は、舎生会及び新入舎生面接の進行役を務めます。
- ❖会計は、寮内の収支を管理し、奉仕園に必需品についての予算を交渉するほか、舎生から集める友愛基金を管理、運営します。

■本年度友愛学舎委員会スローガン

今年度の友愛学舎委員会のスローガンは「多彩」とし、委員会は舎生の個性を尊重し、それぞれの色が濁ることなく共存できる寮を目指す。友愛学舎は他の一般的な学生寮と違い、性別や大学、出身地の共通項を持たない様々な学生が共に暮らしており、学業や趣味など個人の生活において多様性に富んだ寮である。舎生にはそのことを再自認し、互いに違いを尊重し合って生活してもらいたい。また委員会は、舎生の個性を認めつつも無秩序な状態にならないよう、各舎生と密に繋がり、舎生同士においても活発な交わりを期待している。

■友愛学舎担当スタッフ

公益財団法人早稲田奉仕園 スタッフ 阿部千秋、西川嗣夫、片岡平和
日本基督教団早稲田教会 古賀博牧師、福山裕紀子伝道師（友愛学舎カウンセラー）
日本バプテスト同盟東京平和教会 大矢直人牧師

3. 友愛学舎の活動

友愛活動の目的は活動を通じてお互いに学びあうことです。友愛活動は原則として授業の次に優先されます。

ただし舎生が真剣に考えて行うそれぞれの活動に対して、友愛学舎委員会はサポートしていきたく思います。そのため友愛活動と舎生それぞれの活動が重なってしまう場合は舎生全員の了承を得ることを条件に、舎生それぞれの活動を優先できることとします。原則として、友愛活動は長期休暇中には行われません。

※実際にあった例

- ・災害被災地支援のために朝の会を休む
- ・就職活動
- ・教育実習

■定期的な活動

舎生会（月1回）

舎生全員の出席の下、委員会の運営で開かれる寮会議であり、議長が進行役を務めます。これからの行事の内容や予定、学舎内での生活で気づいたこと、全員で話した方がより良い生活になると思われることを話し合います。舎生一人一人の意見が大切であるから安易に妥協せずひとりひとりが納得するまで（原則は全会一致）話し合われます。ここでの決定事項は最高議決であり、決議に参加したもの全員に責任が伴います。そのため舎生ひとりひとりの積極的な参加（発言）が求められます。

朝の会（月～金 毎朝）

学期期間中の平日は毎朝7時から全舎生出席の下、朝の会を行います。舎生による聖書発表、学生発表、自由発表、3L（グループ発表）、礼拝そして牧師を招いて話を聞くなどの時間を30分設け、その後皆で朝食をとります。

聖書発表は年に舎生それぞれ3～4回発表を担当します。聖書発表では讃美歌を歌い、聖書の該当箇所を輪読し、そして発表を行い、最後に黙祷、または主の祈りをを行います。舎生の聖書への理解をより深めるため、舎生が行う聖書発表と関連した内容の話を牧師から聞きます。内容：年間を通して聖書を読み、聖書から委員会が選んだ担当箇所を基にして各自で聖書発表を行います。また、クリスマスやイースターなどのキリスト教に関する行事の時期にはそれに見合った箇所を委員会から担当者に割り当てます。

学生発表では年に1～2回舎生が学問分野で自由にテーマを決めてそれについて個人で発表を行います。舎生の学問的興味関心をほかの舎生に伝える場として活用します。

自由発表では年に1～2回舎生が自由にテーマを決めてそれについて発表を行います。舎生の興味関心をほかの舎生に伝える場として活用します。

礼拝は毎月第一金曜日に礼拝堂にて行われます。聖書の輪読や讃美歌、牧師先生によるご説教などを通してキリスト教の祈りの形態にふれます。

■年間の活動（予定）

入舎式（2017年3月23日）

入舎式をもって新舎生の友愛学舎での生活がスタートします。友愛舎生のほか、早稲田奉仕園の役員、職員や友愛OB・OGも参加します。

フライデーナイト（4月頃）

奉仕園が主催する、他の奉仕園会員・留学生と交流することを目的としたパーティー。留学生たちとの交流ができるよい機会です。友愛舎生は会場の準備から最後の片付けまで参加します。

三学舎交流会（5月～6月頃）

近隣の基督教の学生寮とともにスポーツ、食事などを通してそれぞれの寮の活動を知り、同時に友愛学舎の活動を知ってもらうことで、自分達を客観的に見る機会としています。お互いに刺激し合い、交流のきっかけ作りとなっています。

フライデーナイト：ジャパニーズナイト（9月頃）

年2回のフライデーナイトのうち、9月は友愛学舎が企画・進行を行う、9月入寮の留学生のためのウェルカムパーティーです。舎生による日本文化の紹介などを通じて、留学生・奉仕園関係者と交流を図ります。

創立記念礼拝&ホームカミングデー（10月29日）

友愛学舎が開設された11月3日を記念して、早稲田教会の日曜礼拝を創立記念礼拝として行っています。当日午後には早稲田奉仕園OB・OGとの交流を目的としたパーティーもあり、その年度の活動を紹介する機会にもなっています。

奉仕園クリスマス会（12月第2土曜日）

奉仕園の主催するクリスマスパーティーです。友愛学舎は例年、料理と劇を担当しています。

面接（1月～3月）

入舎希望者に対して行われる面接です。舎生全員の出席の下、議長が進行役を務め、奉仕園スタッフも同席します。

卒舎式（3月下旬）

卒舎する4年生を送り、1年間の活動を締めくくります。早稲田奉仕園の理事、職員、OB・OGも参加します。また、卒舎生追い出しコンパも行われます。

- 上記の活動以外に、母体団体である早稲田奉仕園が開催しているプログラム（奉仕園活動）が多数あります。原則としては自由参加ですが、これらのプログラムに参加することは、視野を広げ、自己の成長につながるの、積極的に参加することが望まれます。下記の既存の奉仕園活動以外にも、奉仕園を通じて新しい活動を始めることも

可能です。

国際理解講座 (Global Understanding)	政治・経済・社会・民族など大学生としてもつべき知識を深め、国際的な交流の基礎技能を高める学生主体のゼミ。
年中行事を楽しむ会 (Feel Japan)	留学生とともに季節ごとの日本の文化を楽しみます。年数回は友愛学舎が中心に運営を担当します。

- そのほかにも、奉仕園ではアジアの語学講座などがあります。
- これらは2017年度のもので、以後改訂される場合があります。
- 奉仕園活動の詳しい内容は早稲田奉仕園のホームページを参照ください。
<http://www.hoshien.or.jp/>
- 友愛活動の様子は友愛学舎ブログも参照してください。
友愛ブログ <http://blog.goo.ne.jp/youi417>

4. 学期期間中の長期留学・海外でのインターンについて

原則として舎生は、友愛学舎での4年間の滞在が求められます。友愛学舎創立の精神に基づく、社会貢献を志す学びの過程で留学やインターンが必要となった場合、それらは原則として長期休み中に行うものとします。ただし、例外として、学期期間中にそれらが必要となった場合、舎生との相談の上でその検討をすることが可能です。目的、期間、地域、所属する機関、居住先の詳細を明確に提示し、舎生会での承認と奉仕園スタッフの承諾を得る必要があります。

学期期間中の留学や海外でのインターンは、3ヶ月から1年間以内とし、帰国後、友愛学舎に戻ることが前提となります。留学、またはインターン中も舎生としての自覚を持ち、月に一度および帰国後の活動報告が義務付けられます。友愛学舎に在寮できる期間は、留学、インターン期間を含めて最長4年間です。

5. 施設・設備

建 物：鉄筋コンクリート 4 階建（1988 年竣工）の 2 階～3 階
部 屋：全員個室（洋室 6 畳）2 階～3 階（男女同フロアー）
設 備：エアコン、机、電気スタンド、イス、たんす、ベッド、本棚、冷蔵庫、
WI-FI（利用料は設備費に含まれます）
共用施設：風呂、トイレ、談話室、キッチン（IH コンロ）、電子レンジ、炊飯器、テレビ、洗面台（2 部屋に 1 つ）、洗濯機（100 円/1 回）、ピアノ（ロビーに設置）

6. 料金

舎 費：25,000 円/月
設備費：7,560 円/月
朝食費：1 食 400 円（学期期間中の平日のみ）
登録費：5,000 円/年
活動費：5,000 円/年
入寮費：100,000 円（入舎時のみ）
●以上は 2017 年度のものであり、次年度以降改訂されることがあります。

7. アクセス

東京都新宿区西早稲田 2 - 3 - 1

- 東京メトロ 東西線 早稲田駅より徒歩 5 分
- 東京メトロ 副都心線 西早稲田駅より徒歩 10 分
- JR 山手線 高田馬場駅より徒歩 15 分
〃 都営バス「早稲田正門前行き」西早稲田下車徒歩 3 分

早稲田大(西早稲田キャンパス) 徒歩 5 分	明治大(駿河台キャンパス) 25 分
早稲田大(大久保〃) 徒歩 10 分	立教大(池袋〃) 30 分
学習院女子大(西早稲田〃) 5 分	上智大(四谷〃) 30 分
学習院大(目白〃) 自転車 15 分	青山学院大(青山〃) 35 分
東京理科大(神楽坂〃) 15 分	清泉女子大(品川〃) 40 分
法政大(市ヶ谷〃) 20 分	慶応義塾大(三田〃) 45 分

8. 募集及び応募概要

2017 年度募集要項

応募前に必ずご確認ください	次の4項目が入舎のために同意必要事項であり、面接の初めに友愛学舎委員会委員長より同意の確認させていただきます。
応募資格	4年制大学（通学が1時間以内程度）の学部に入學予定の新1年生の男女で、4年間在舎する意志をもち、友愛学舎創立の精神に賛同する者。
募集人数	4名（新1年生男女）
選考方法	願書及び課題作文提出後、面接試験
出願期間	面接日の1週間前消印有効（間に合わない場合は対応いたします）
面接日	前期：1月21日（土）午後のみ、22日（日） 後期：3月11日（土）、12日（日） 日時は応相談
結果発表	可否によらず面接終了後数日以内に本人宛に連絡します。なお、結果の理由、詳細はお答えできません。

2017 年度入舎課題

入舎希望者は、下記にあるいずれかの問い合わせ先に連絡し、以下の課題と願書を面接日の1週間前消印有効にて郵送して下さい。

また、面接には願書と作文のコピー及び本募集要項をお持ち下さい。

I 作文課題

以下の①～③全てについて、それぞれ800字以上で自由に書いて下さい。

- ①数多くの寮がある中で、どうして友愛学舎に住みたいと思いましたか？
- ②今までの経験や体験を踏まえて、これからの大学や寮での共同生活をどのように過ごしていきたいですか？
- ③【ヨハネによる福音書第15章】全体を読んであなたはどのようなことを感じましたか？そして聖書を学ぶ意義についてどう考えますか？

II 面接課題

自由に自己アピールをして下さい。

（面接は友愛学舎にて、1年から3年までの舎生全員とスタッフが同席し、質疑応答形式で実施します。時間は1時間程度です。その際に自己アピールをしていただきます。）

9. 入舎手続き

- 入舎決定の際は本人の誓約書および保証人（同居家族1名及び他1名）の確認書の提出が必要となります。
- 入寮日は2017年3月19日（日）から22日（水）までとなります。（日時応相談）
- 3月23日（木）に入舎式をおこないます。また、同日より1泊のオリエンテーションキャンプに参加していただきます。

10. 書類送付先及びお問い合わせ

- 早稲田奉仕園事務所（担当：西川、片岡、阿部）【9:00～17:00】
住所：〒169-8616 東京都新宿区西早稲田 2-3-1
電話：03-3205-5402
email：domitory@hoshien.or.jp
- 早稲田奉仕園友愛学舎【上記以外の時間】
住所：同上
電話：03-3203-3688